

## 知事と区市町村長との意見交換（葛飾区）

令和1年10月7日（月）

17時10分～17時30分

○行政部長 それでは早速でございますが、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○知事 青木区長には都庁までの御足労、ありがとうございます。ラグビーワールドカップ、2020大会と、その後も東京は発展していく、持続可能な成長を続けていく。そういった観点から、青木区長の今後の葛飾区、また地域の発展のためのビジョンやまた御計画等等、伺わせていただければと存じます。よろしくをお願いいたします。

○行政部長 それでは青木区長、よろしくをお願いいたします。

○葛飾区長 小池知事には本当に区の意見を聞く場を度々設けていただいて、本当にありがとうございます。また、区の活動にも目を向けていただいております、各局とも連携した事業を今進めているところであります。

これからも各区や市と連携をして、未来に発展する東京、SDG's っていう言葉、持続可能な都市の話がありましたけども、葛飾も非常に力を入れていただいております、日経の調査なんかでも、特に環境部門では都内でも62市町村の中で1番になりましたし、全体でも14位という高い評価をいただいております。

ぜひ、やはり持続可能というのはとても大事なことですので、ぜひこれは区の計画だとか、方針の中にしっかり組み込んで、今、進めているところですけども、都とも連携して進めたいと思いますので、よろしくお願いを申し上げます。

それから、今日5つ課題ということで、実際にいろいろあるわけですけども、特に重点的な課題として5つ取り上げさせていただいております。

1つ目ですけども公共交通、今高齢化が大変進んでます。葛飾でももう100歳以上の方が、160人以上いますし、それから65歳を超える方も11万3,000人以上、今区の人口は46万4,000人近いです。そういった方々の声はやはりなんとか公共交通、自分で自動車も運転できない。そうなるとう公共交通をなんとかしてほしいって声がとても強いんですね。

ところが今、このところの考え方はどうしてもB/Cとか費用対効果という話になってしまっていて、世界各国の状況を見てても、公共交通がなかなか進んでないような話を聞きますし、やはり費用を掛けてでも公共交通をやっつけていかなければいけないのかなというふうに、何年か前から思っています。

そこで調査をした資料、あそこにありますけども、公共交通網の整備方針というのを2年掛けてつくりました。その中でもやはり公共交通を充実をしなければいけないということをもとめさせていただきました。

この間、具体的に例えばバス網ですけども、バスを、社会実験をやりまして、最初は区でお金を出してそれでこの辺は必要じゃないかということでやってみて、実際やってみますと、すごく客が乗る所もあるんです。乗らないところもあります。実験してみないと

分からないことがありますので、そういった取り組みを今進めているところです。

ただ、鉄道の方はなかなか難しいところがありまして、その中でも地下鉄の話とかいろいろあるのですけれども、ちょっとここにも書いてあるんですけども、新金線、度々お会いする時にいつもお話をさせていただいておりますけども、常磐線とそれから総武線を結ぶ線。今、貨物線で運行しているのですけど、これの旅客化をなんとか実現をしたいなと思って、葛飾区でも25年前に調査をして、それから15年前にも調査してるんです。

その際にはなかなか厳しい、費用対効果の問題とかいろいろんなことが出たんですけども、このところ金町の方も乗降客が増えています。常磐線の中では非常にめずらしいんですけど、JR1,600駅の中でも増加率がベスト10になるぐらい増えているんです。一位は武蔵小杉ですけどね。それから総武線の方の新小岩の駅も34位で、すごく伸びていますので、なんとか可能性も高まっているのかなと。

それからもう1つ、国の方もLRT、都電のようなものですが、これについて補助制度をこの間出来たとか、いろんなことがありまして、私は地下鉄よりも可能性が高いので、先にこれをやりたいなと思っています。

ただ、区で直接こういった事業をやってませんので、なんとか都は都バスもあり、それから都電もまだ残ってますし、都営地下鉄もありますので、こういった面での技術的なことも含めて、専門的な立場での支援をぜひいただきたいなというふうに思います。

もちろん、国の支援、補助をもらう時に、都の方でも少し乗せていただけるようなことになれば、よりやりやすくなるのかなと。単純に費用対効果だけではないところもあるというふうに思っています。もちろん今最近この2年の中で調査した中でも、かなりB/Cも上がってきていますので、可能性は高いのではないかなというふうに思ひまして、ここでなんとか、区民の声も非常に強いもんですから、前に進めていきたいなと。

特にライトレール方式、都電方式ですけども、それをまず第一に掲げてやっていきたいなと思っています。

それからあとは細かいのをいくつかお話をさせていただきます。大事なことはありませんけれども。

1つは来年オリンピック、パラリンピックですけども、それに向けた取り組み。確かに葛飾区で直接やるものはないんですけども、この間やはり盛り上げようということで、特に外国から来たお客様への対応とか、そういったことをいろいろ考えて進めています。

例えば水元公園を活用させていただいて、スポーツクライミング。これは今すごく日本でも非常に成績が優秀な方が出て、世界選手権でもがんばってますね。あれの施設を今、都の了解もいただいよいよ工事が始まります。来年の春までに出来上がりますので、オリンピックに向けてそこで約半年間練習してもらって、がんばってもらいたいなと。

ただ、そのまんまにしておくわけにいけないので、ぜひこれは活用できるようにレガシーとして活用したいなというふうに思っているところであります。

その他にもう1つ、この機会にまちを緑化しよう。葛飾花いっぱい運動というのをずっと続けてまして、それをぜひやろうということで、そこに出ていますけれども、フラワ

一メリーゴーランドといいまして立体形のものですけども、これ臨海にも大分設置をさせていただきます。フラワーキャンパスとかありますけど、そういったものをぜひやって、未来に繋げていきたいなっていうふうに思います。

あと2つ、3つはそれほど大きなものではないんですけども、従来からお願いしてやっているものです。用地の活用、それから水害対策。これはいつも課題になってます。

それから最後に学校の改築を、今14か所で具体的に進めてきていますけれども、先日教育長さんともお話ししたんですけども、木造をぜひ一つやりたいと思っているんです。木造については三菱総研の小宮山先生とか、いろんな方とも話してて、費用は掛かるかもしれないけども教育上も非常にいいし、それから特に熱効率の点でも非常に高いものがあるっていう話がありますので、ぜひ1校まずやってみたい。

その木については多摩の方で木をとるという話があるようですから、そういったものを活用したいなと思って、それはぜひ都の方で協力いただけると、多摩の方とも繋ぎながら木材の確保とかいろんなことがあると思いますので、ぜひこういったことをお願いしたいなというふうに思っています。

○知事 それではいくつか課題をお伝えいただきました。まず交通関係ですけれども、かねてよりお話のあります、新金貨物線の旅客化はなかなか国の答申への位置付けがないということですが、今お話がありました、公共交通網の構築に関する検討ということで調査をされたということでもあります。都としても協力できるところはしていきたいと思えます。

それから路線バスでありますけれども、引き続き区の方と連携しながら適切な運行を努めたいと思っております。

また、ちょっと先になるかもしれませんが、例の自動運転とか、今 Society5.0 と、それから 5G という、今 4G ですけれども、5G の世界に東京都も道路インフラの整備と同じように、電波の道をつくっていかうということを進めているところでございます。中期的に見ても自動運転というのは世界競争が今起きているところですが、社会課題を解決する技術として活用を期待されているところでありますので、これらのことを区市町村の皆様と連携しながら、東京自動走行ワンストップセンター等を通じて、実証実験も支援しながら、バスを回すということになった時は運転手の確保をしていかなければ進みませんので、そんなことも併せ持ちながら、今回の調査2件についてもまた担当の者がしっかり分析もさせていただくかと思えます。

それから花の都プロジェクトというのは、確かあれは葛飾ですよ。農業高校。

○葛飾区長 そうです。農産高校。お越しいただきありがとうございます。

○知事 農産高校。このフラワープロジェクトを拝見しまして、随分各地で飾っていただいているというのは、非常にまちの付加価値を高めることに繋がると思います。まち全体に花と緑が広がるように支援をしていきたいと思えます。

それからスポーツライミング施設ですが、これも大会後もレガシーとして有効活用されますように、引き続き連携して取り組んでいきたいと思えます。

それからスポーツ熱が冷めないように、2020 大会後もいろんな意味で、都民の健康のためにもスポーツをより定着、そして広めていきたいと思っておりますので、またその点については都としても連携させていただきたいと思っております。

副知事から御答えしますか。

○副知事 従前からいただいている都有地の話でございますけれども、特に現時点で未利用の都有地につきましては、都にとっても区にとっても共通の貴重な財産というふうに認識しております。

そのため、都庁内の活用検討と共に区市町村における公共利用の御意向も確認しつつ、地域の課題解決に繋げる等、効果的な活用も図っていきたくと思っております。

今後とも都有地の活用にあたりましては、区市町村の皆様とも十分調整したうえで、それから従前からお話いただいている、都庁から御紹介させていただいている以外のアイデアについても御意見を賜りながら、都の財産処分の規程等に則り対応してまいりたいと考えております。

○知事 それと公立学校の改築の件で、木材を活用するというところで、これは国も補助をしておりますし、また都としても国の交付金事業により実施する国産木材を活用した学校施設の木質化の整備に対しての補助も行っております。

それから、かねてから全国知事会で私の方から発信させていただいて、普段は1対46の戦いですが、木材の利用については、ほとんどの地域が賛成ということで、木材の利用をまた活用を広げて内需を拡大するというのが、結局、山の力を保全するということに繋がってまいって、大きく言えば地産だというふうに思っております。

ましてやその木材というのは、いろんなフィトンチッドとかいろいろ木材の癒し効果というのは、学校には一番適しているということは前々から言われておりますので、そういう意味でも、内装の木質化や木製の什器の導入等も支援しておりますので、こちらの方も活用していただきたいと思っております。

それから水害対策であります。こちらの方も広域避難について共同で検討会を、国、東京で検討会設置しまして、ワーキンググループには葛飾区も構成員として参加いただいております。今年度末に最終報告として広域避難にかかる自治体、そして関係機関間の役割の分担や連携の在り方を、とりまとめてまいりたいという、そういう時間的な感覚で進めております。

防災船着き場もあるということでございまして、災害時の緊急物資の輸送等で利用が図れるように、土砂堆積が確認された際には浚渫を実施するといったような維持管理も図って、機能確保に努めているところであります。あとは平常時では区の防災訓練等の公共目的の利用について、都として協力をしてまいります。

○葛飾区長 ありがとうございます。

○知事 あとスーパー堤防の話ですか。中川の奥戸地区、それから東立石地区等での実施ということで、地元の皆さんと関係者との連携を図ってスーパー堤防事業の着実な進行を続けたいと考えています。これは真っ赤ですね。

○葛飾区長 そうなんです。水害は大変大きな課題ですね。

○知事 葛飾区もやはり赤の所と。

○葛飾区長 結構多いです。

○知事 この週末も結構大きなのが来る。

○葛飾区長 そうですね。来るような話がありますね。

○知事 ということで、高潮と一緒になるとまずい。

○葛飾区長 ただ、実際の水害そのものは、この前に、管、下水とかいろんなことやってきたので、かなり被害が出なくなってるんですよ。出なくなっているだけに、大きなことが来ると怖いということで今話をして、区民と共に、このあいだも、先日も防災訓練、総合防災訓練の時も一度おいでいただきましたけども、そういうのを積極的にやろうということで、それについてはぜひよろしくをお願いします。

それから本当に今日、出させていただいたのに本当にきめ細かく丁寧に説明していただいて、本当に感謝します。ありがとうございます。

ちょっと1つ、2つ追加といいますか、中身の事なんですけども、木材の話なんですけれども、このあいだも教育長さんとも話したんですけども、結構非常にいいことだという議論はすごくあるんですけども、例えば材木を集めるのに大変だとか、それから建築コストが高い、僕も技術屋さんで大分話しているんですけども、非常に高い話も出たりするので、技術的な面でも議論をして、具体的にやるということで進めていかないとできないのかなというふうに思っていますので、ぜひそういう建築部門の方にも協力をいただいでやりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

それから都有地の話なんですけども、この間いくつかやり取りさせていただいて、活用させていただいています。具体的なのが出た時にぜひより協議を進展できるように、なかなか局ごとに違ってたとか、いろんなことがありまして、これなかなか難しいところもあるんで。特に住宅局だとかそういう所だと、もうそれぞれにいろいろ議論があって、時間が掛かっている面もありますので、今もちょうど特養のための水元の用地を、今もう使っていない所ですがお願いをしていたり、もう20年ぐらい使っていない東堀切の土地もちょっと使いたいということでお願いをしたりしているんですけども、なかなかこれいろいろこう難しい面もあるので、できればある土地はうまく有効活用できるように、話が進むようによろしくお願いたいなというふうに思っています。時間はいいですかね？

○行政部長 どうぞ。

○葛飾区長 一番最初にお話した、水害の話とかそういうのも日常的にずっとやらせていただいていますので、やはり公共交通の話をぜひ具体化したいなと思っています。この間、いろんな形で調査をしたりして、25年前の調査、15年前の調査も含めて、新金貨物線については地元がかなり盛り上がってきています。可能性は高まっているという認識の下に、ぜひ協力をいただけると前に進むのではないかなというふうに思います。

今、JRとも具体的な話を社長さんともお会いして、何度か担当の方ともお会いして話をしていますし、国交省の鉄道局の方とも話してるんですけども、貨物線の所にLRTを走らせ

るというのが、今までないそうです。ただ、それは今、貨物線一日に2本しか走ってないですからね。往復すると4になるんですけども、そのぐらいですので、かなり可能性は高いというふうに思っていますし、いろんなことを調査をすればするほど可能性は高い状況だろうなというふうに思います。

ただ、いつも最後になると、数年、非常に短い期間でB/Cをという話になってしまうので、そこはなんとかいろいろな形で国の支援とか都の支援も、区も入れることになってきますけども、それによって実現できるようになると、かなり効果が高いんじゃないかと。それを突破口にして全体の交通網を整備していきたいなというふうに思います。

それから、さっき5Gとかそういう話もありましたけども、全くそのとおりで、運転手さんが今不足しているんです。バスは特に、葛飾区内は京成が多いんですけども、京成さんは給料が安いせいかどうか分かりませんが、運転手さんが集まらないんです。そのために本数を減らされるケースがすごく多いんです。運転手が集まらない。

それでそこでなんとかしたいって言うんですが、それはぜひ自動運転ができるようになれば、コースとかいろいろなことはまだまだ課題はあると思いますけども、それに向けていければなというふうに思いますので、ぜひよろしくをお願いします。

○行政部長 それではそろそろお時間になります。最後に知事から一言、お願いいたします。

○知事 いくつか観点からのお話、承りました。今後どのようにして持続可能な葛飾にしていくかということは、すなわち東京にしていくかと繋がるものでございますので、今後共しっかり連携させていただきたいと思っております。今日はありがとうございました。

○行政部長 ありがとうございました。